

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1471901494
法人名	有限会社 トウインクル・ライフ
事業所名	グループホーム美咲の家
訪問調査日	平成19年9月26日
評価確定日	平成19年10月31日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 19年 10月 4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	第1471901494号
法人名	有限会社 トウインクル・ライフ
事業所名	グループホーム・美咲の家
所在地	神奈川県横須賀市津久井2 - 21 - 22 (電話) 046 - 847 - 0085

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵜沼橋1 - 2 - 4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成 19年 9月 26日	評価確定日	平成19年10月31日

## 【情報提供票より】(19年8月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 8月 1日						
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人				
職員数	10	常勤	5人	非常勤	5人	常勤換算	4.3 人

### (2) 建物概要

建物構造	( 木 )造り
	2 階建ての ( 1 )階 ~ ( 2 )階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	75,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 550,000 円	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,315 円			

### (4) 利用者の概要 ( 8 月 21 日 現在)

利用者人数	5 名	男性	名	女性	5 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名		
要介護3	1 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83.8 歳	最低	74 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	野村内科クリニック・田沢歯科医院・横須賀市立病院
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは私鉄駅から徒歩数分の住宅街にあります。2階屋の民家を改修した造りとなっており、一般民家に見え、周囲に溶け込んでいます。庭には松の木や、甘夏の木、皆が食べるのを楽しみにしている枇杷の木などがあります。部屋には表札もなく、全室畳であるなど、ごく普通の住まいであることがホームの特色です。入居者は段差に注意し、布団の上げ下げも出来るだけ自分で行なうことにより、これらが脳の活性化と「自力・自立」支援へと結びつけ、入居者の機能維持やリハビリとなり、皆さんの明るく元気な暮らしにつながっています。職員は一人ひとり、きめ細かな徹底した見守り重視の精神で、入居者の自主性と安全を確保しています。従来グループホームのイメージ覆す、ホーム独特の理念が浸透しています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 自己評価や外部評価の内容は全体会議等で共有し、各項目は常に謙虚に受け止め、職員の資質の向上と、入居者への更なるサービスの向上に努めています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価は全員で取り組み、過程で新たに気づきがあった事は、ミーティングに計り、直ちに改善に結びつけています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は3ヶ月一回開催され、ホームからは積極的に参加しています。今後会議の充実に伴い他のグループホームとの連携や、行政当局等との連携を密にして、職員の資質の向上に務め、ホームのサービスの質を高めていく意向です。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族へは「美咲通信」が毎月発行され、ホームにおける入居者の生活状況などをお知らせしています。入居者の苦情、相談は積極的に受け入れ、解決することは更なるサービスの向上と受け止め、事業運営に反映する仕組みがあります。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内のお祭りや、清掃などの行事への参加、毎日の散歩では、農家の人達や、地域のなじみの人々とのふれあいの場があります。また民謡、カラオケなどのボランティアや社会勉強のための地域の中学生の受入れも積極的に行っています。今後の運営会議、協議会の充実に伴い、更に連携を強めて、ホームの運営や入居者のサービスの向上を図ろうとの意向です。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	建物も居室も長年住み慣れた住環境にあり、近隣住民との交流の中で、食事時間以外何の制約もなく、入居者の「自力・自立」の運営理念のもと、見守りを重視し、一人ひとりにきめ細かな支援が実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に「自分だったらどうして欲しいか」、「あなただったらどうする」の理念を合言葉に法人代表のリーダーシップのもと、毎日のミーティングを通じて職員全員に理念の徹底を図っている。入居者の人数を6人とし、それぞれの個性を生かした、見守り重視の支援をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内のお祭りや町内清掃などの行事に積極的に参加し、毎日の散歩では、農家の人々や地域のなじみの人達との交流を図っている。更に今後は推進会議や協議会を通じて他のホームとの交流を図ろうとしている。社会勉強のための地域の中学生の受入れもしている。		今後、地域の民生委員や老人会等との交流の機会をつくり、拡大する地域の高齢化社会においてホームを発信基地として、グループホームの良さをPRされることが期待されます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホームでは自己評価や外部評価について、職員全体のミーティングで共有し内容は謙虚に受け止め、更なるサービスの向上を図っている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に一回開催され、ホームでも積極的に参画している。他のホームとの交流や民生委員の機関との交流、市との連携を深めようとしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今後は市や関係機関との連携を深め入居者へのサービスの向上と職員の資質の向上に積極的に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭は入居者毎にホームで立替えて月次で清算し、その内容は毎月発行している「美咲通信」と共に家族に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者や家族の苦情、相談、要望は「苦情、相談マニュアル」に則り、受付から管理者、法人代表で解決が図られる仕組みがある。その結果は、入居者の個人情報保護に配慮し、全職員に公表し再発防止や事業運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ホームの職員の異動は殆どなく、入居者も少人数であるため、職員一人ひとりが入居者と馴染みであり、入居者との信頼関係ができています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修には時間の許す限り参加し、更に希望者にも研修の機会を与え、研修後の情報は回覧やミーティングで発表され職員全員で研修内容が共有され、資質の向上が図られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協議会、運営推進会議にも積極的に参加し他のグループとの交流を図りホームのサービス向上へ繋げようとしている。姉妹グループホーム「みづき」との連携、交流も深めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>常にホームの理念に立ち返り、入居者の立場にたつて、相談から入居に至るまでの対応をしている。在宅からの馴染みやすい住環境を提供している。居室には馴染みのタンスや置きものがある</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者の「自力・自立」をさりげなく見守り、時には寄り添い、喜怒哀楽をともにし、生きていて良かったと、喜び合える関係を目指している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者との会話を通して意向や希望を把握している。困難な場合は表情や「私だったら」と本人本位に考え、職員全員で検討会議等を行い意向の把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者・家族の意見やミーティング・申し送りでの職員の意見・アイデアを反映させ、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>入所時に作成した介護計画は1ヶ月後に見直しを行い、その後3ヶ月後に再度見直しを行い、その後は6ヶ月毎に見直し介護計画を作成している。また計画期間中に状況の変化が見られた場合は現状に即した新たな介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の宿泊や外出時のボランティア等の支援、またホームの近くの畑を借りて野菜作り等を行なっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回野村内科の往診をお願いしているほか、24時間いつでも対応をして頂ける。歯科に関しては2～3ヶ月に1回田澤歯科の往診をお願いしているが、急な場合の往診もして頂ける。メンタル面は汐入メンタルクリニックとの連携を取っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルは開所より数件の対応を行なっている。家族・医師との連携を密に検討・話し合いを行い、職員全員で方針を共有し行なってきた。その事を教訓に看取りの現状と今後ために、記録を残し資料を整備している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの入居者に対し最善の配慮をした声掛けを全職員が行なっている。また、記録等の個人情報の取扱いは、他の人が入室をしない事務所に保管し施錠している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の過ごし方は入居者の希望に添って支援をしている。散歩・ドライブ等の外出や食事の献立等、利用者と話し合いながら決めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事作り・配膳・下膳・片付け・おやつ作り等、全て利用者も一緒に行なっている。お米は入居者が精米し、庭で取れた野菜やご近所から頂いた旬の野菜も利用者に調理の方法を教わったりしながら一緒に作ったりしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日はある程度決まっていますが、毎日何時でも可能です。入浴中も利用者のペースに合わせてゆったりと行なっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれが役割というのではなく、率先して調理・精米・洗濯・片付け等を行なっている。また楽しみごとにも畑作り・書道・カラオケ・生け花等、思い思いに行なっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩は勿論、ドライブ・買い物・ゴミ捨て・近隣への回覧板渡し・近くのグループホームへ表敬訪問等、日々戸外に出掛けられるよう支援している。また外出のボランティアの支援も行なっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠するのは夜間のみで、玄関は勿論どこも施錠をしていない。利用者も自由に出入りを行なっている。見守りや言葉掛けを十分に行い対応をしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災・避難訓練を行なっている。(2～3ヶ月毎)訓練は昼・夜・場所等、異なる想定で行なっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節や体調・尿量などに配慮して水分補給をおこなっている。また栄養のバランスについては、病院の栄養士さんに献立を見て頂いたりしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・廊下・居間には季節の花が生けられている。居間は畳がひかれ家庭にある様な家具がおかれ、家庭にいる様な雰囲気がうかがえる。利用者は居室にいる事は少なく、殆ど居間や庭に出たりしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室も畳がひかれている。家具等は使い慣れた物が持ち込まれ、家族が来て泊まっていく事もできる。		



# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## 記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム美咲の家
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	神奈川県横須賀市
記入者名 (管理者)	谷花 涼子
記入日	平成 19 年 8 月 13 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>・周囲での生活を含め支援出来るようスタッフは心掛けています。</p> <p>・回覧板を一緒に回したり、ゴミ当番を行なう。毎日の散歩にて近所の方々には皆で挨拶をするなど。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>・理念を理解し体に染み付いている。</p> <p>・日々の申し送りにて確認し、その人にあった対応をしている。</p> <p>・共に生活をし共に働く。具体的にはスタッフと共に食事作り、掃除、洗濯たたみ等をする事によって、各利用者さんの顔が生き生きとした顔つきをされている。</p>	<p>・日々の細かな申し送りと、定期的な全体会議にて、常に理念の確認が出来ている。また、それ以外にもスタッフ同士で、話し合いがすぐ出来る環境であるため、理念の実際に向けて取り組み易い状態にある。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>・運営推進会の実施(3ヶ月に1回)</p> <p>・ご家族に美咲通信を発信(月1回)</p> <p>・近隣の方は施設長がお話等、ちょこちょこ行っているため、理解して頂いていると思います。</p> <p>・家族への定期通信(ホームの便り)や、施設長の細かな家族との連携で、理念の浸透はされている。</p>	<p>今後、施設での通信を回覧したり、近所の方を招いてお茶会などを行っていきたいです。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>・玄関はいつでも開いており、近所の方々から季節折々の物を頂きありがとうございます。</p> <p>・お花など、色々な方から頂き、地域住民の方と良好な関係を取れていると思います。</p> <p>・施設にあるみかん・びわ等近隣の方にとってもらったり、一緒に食べたり、てんぷらをおすそわけしたり、色々お付き合い</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・町内会行事(溝掃除・会合・お祭り)などを通じて上記と同じく良好な関係を築けていると思います。</p> <p>・平成15年に町内会の組長を行い利用者さんと新聞を配ったりしていました。</p> <p>・海岸掃除を利用者さんとおこないました。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	・運営推進会にて検討中。今後どう携わっていくか話あっております。		案は出ているので、今年中には取り組んでいく予定。民生委員さんには話済み。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価後、みんなの意見を集計し、ミーティングにて話し合いを行っている。 ・良いホームになるようミーティングにて話し合っています。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・地域のグループホームの見学会を開催したり、ホームに来ていただいたり、運営推進会の報告をミーティングで話したり、サービス向上に努めている。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市より、職員が来所する機械のあった時には、意見を聞き入れていきます。		たとえば、どんな事でしょうか？
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	・外部研修にて学んでいます。 ・今現在は成年後見制度を利用している方はいませんが、研修に行つて学んできました。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・ホームで勉強会を開き、皆で話し合いました。 ・拘束の内部研修を行うと共に、利用者さんの変化を見落とさないよう日々観察しております。 ・ミーティングで、虐待についての過去の事例(勿論当ホームではない)などを参考に話し合いの場が設けられ、全員が注意を払うことが出来ている。		・現在行っている対応はすばらしい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族の表情、理解度を見ながら、説明しております。</li> <li>施設長が随時おこなっています。</li> <li>家族会に参加していただき家族同士でも話し合いの場を作っています。</li> </ul>		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも聞ける状況で、口に表さない事でも、スタッフは心情を理解出来るよう努め、申し送りなどで日々支援に繋がっています。</li> <li>日常の利用者さんの生活の中で、できるだけ希望・要望に沿って、些細な希望等でも出来るだけ聞きだすように努めています。</li> </ul>		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要なことは施設長が報告してくださり、細やかな日常生活の変化はご家族来所時、毎回スタッフが伝えています。</li> <li>連絡報告は蜜に行っている。その連絡等は職員と連携をとって、主に職員の意見をよく反映されている。</li> <li>家族の人が来訪された際には、利用者さんの現状をスタッフが説明し、必要な場合には管理者・施設長から連絡してい</li> </ul>		・家族会を適宜おこなっています。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族と密接な関係を持っているので、ご家族が来所時にスタッフに意見を下さり、日々の支援につなげている。</li> <li>反映できています。</li> </ul>		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> <li>申し送りやいつでも連携を取り合い、お互いの意見、考えを話し合っている。</li> <li>毎日朝・夕の申し送りを確実にし、職員同士で、意見交換をしている。</li> <li>月に1回全員が集まるミーティングを実施し、問題解決の意見を出し合っている。</li> </ul>		・毎月のミーティングだけでなく、日頃からそういった機会は十分設けていただいている。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外の行事・花見などについては、職員の人数を増やして、その行事が安全にスムーズにいくよう努めている。</li> <li>ターミナルケア時は常勤スタッフと共に、施設長やパートスタッフが適宜来てくれる体制が出来ている。</li> </ul>		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>配慮してくれています。</li> <li>2名以外は皆、4年以上勤務しております。</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・その人に合った研修を行うよう促し、時間の確保をしている。 ・研修に行きたい人は行ける状況を作っておくと思います。 ・役立ちそうな研修、試験等の情報提供・相談をいただいている。		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・グループホーム協議会への参加は随時している(勉強会)と共に、サービス向上のための話し合いを行っている。(昨年は協議会役員をしていた) ・他ホームへの訪問などいける状況を作ってください、勉強する時間を確保していただきます。		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・日々の話し合い、飲み会等 ・職員の話をよく聞いてくださり、問題解決に向けスタッフを大切に考えてくださっています。 ・いつでも愚痴を言える環境を作っている。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・さりげない見守り、ホームの向上に向けてスタッフと話し、一人ひとりのレベルを上げられるよう支援してくれている。 ・レベルに合った対応の仕方、役割を持って、スタッフそれぞれが生き生きと働けるよう努めています。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・1対1の会話の時間を確保(表情・言動により確認している) ・納得いくまで何回でも話し合います。		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ケアプランに反映させるためにも、話をきちんと伺い、求めていることを聞き入れ、不安を解消できるようアドバイスをします。 ・必要に応じて話し合いを行います。 ・話はしっかり聞く機会を作っています。 ・話しやすい環境を作れていると思います。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・話を伺った上で、情報提供をする場合もあります。 ・その時に応じて対応を変える等しております。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・慣れるまで、表情・言動により注意を払い、スタッフは他利用者さんとの間に入りフォローしています。 ・ご家族と連携をとりながら、必要な場合は、ご家族に頻回に来てもらうこともあります。 ・その方に応じてご家族と話し合いながら、馴染めるよう環境・対応を変えていっています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・日々努力しています。 ・理念の1つでもあるので、きちんとスタッフ同士、連携を取り合って関係作りに努めています。 ・全く項目にある文章そのものの考え方に基づいて、リビングでの会話をしたり、散歩、生活リハビリ等を実施している		・その人が得意とする分野では活躍の場をどんどん作り、頼りにしたり、共に笑ったり、時にはケンカもしたり・・・と支え合っています。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・来所時には、お話を伺ったり、様子を伝えたり、お茶をみんなで飲んだり、よい関係が作れていると思います。 ・できている。 ・出来るだけ面会に来ていただけるよう声をかけたりしています。		ご家族の都合が合えば、外出・外泊だけでなく、ホームで一緒に宿泊できれば良いのですが・・・なかなか都合が合わず企画のみですので、今後実現できれば・・・。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・利用者さんの悩み、ご家族の思いをスタッフは受け入れ間に入り、お互いどうしてほしいのかを伝えていきます。 ・認知症の症状説明など、現在の症状と対応方法・これから起こりうる症状など話している。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・24時間誰でもいつでも来れる状態になっています。 ・いつでも来所でき、受け入れられるよう支援しています。 ・施設で困難な場合はご家族の協力の基お墓参り等行かれています。 ・電話・手紙・来訪がいつでも出来るよう支援しています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・日々、介添え・声掛け・仲に入ったり等状況に応じて随時行っております。 ・間に入ってフォローしたり、利用者さんが楽しそうに会話が弾んでいるときは後方でこっそり見守りしています。 ・状況に応じて適宜最善の対応が出来るよう努めています。		・スタッフは談話やレクの場を作り、介添えとして加わったり、フォローにまわっている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後もご家族が遊びに来られたり、研修発表の協力をしてくださったり。</li> <li>・気軽に訪れていただいています。</li> <li>・いつでも電話や来所できる(してほしい)という事を伝え、大切にしています。</li> </ul>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1.一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護計画を作成する際に、ご本人の思いや希望をともに作成、出来る限り、本人と共に検討している。</li> <li>・本人の表情や会話での希望の把握。ご本人の気持ちや状況に沿った検討会議を行っている。</li> <li>・職員全員で把握に努めている。(把握したことは、個々に留めず、全員がわかるように個人記録に記入している。)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念になっています。</li> <li>・常にご本人の意思を尊重し、ご本人の立場になって考えられています。</li> </ul>
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね出来ているが、ご自分の過去について話をしたかららない方に対しては、ゆっくり時間をかけて把握に努めています。</li> <li>・職員全員で把握に努め、漏れのないように個人記録に記入しています。</li> <li>・ご家族用アセスメントと共に、過去の状況把握が行えるよう皆で努めています。</li> </ul>		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・把握した上で動いている。</li> <li>・ケアプラン施行と共に毎月、プランの見直しと、変化によりプランの変更等日々の申し送りの中で行っています。</li> <li>・口には出せない利用者さんのことでも、スタッフは状況把握できるよう皆で努めています。</li> </ul>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングや申し送りでの意見やご家族との会話やご本人の話を介護計画に反映させています。</li> <li>・面会時ご家族と話し合うと共に日々の中での利用者さんのさりげない一言を聞き漏らさぬよう作成しています。</li> </ul>		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと話し合い作成しています。(ご家族の来所(訪問)がもう少し多いともっと話し合いができ、より良いケアプランができそうですが…)</li> <li>・ケアプランと共に、毎月プランの見直し、状態の変化によりプランの変更・申し送りにて、日々の状況により適宜最善が尽くせるよう行っている。</li> </ul>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・毎日の記録記入と申し送りでの情報交換。またミーティングでの介護計画の見直しを行っている。 ・変化があった場合はその都度ケアプランの見直し、また毎月の介護経過をチェックし、問題点・変化を明確にしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・ご本人・ご家族の状況や希望を最優先した支援が来ている。 ・外泊や外出また、ご家族が泊まっていたとしても良い空間を作ったり、要望はうけいれております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・民生委員の訪問や行事の際のボランティアさんの参加。 ・定期的な避難訓練(消防)散歩時の挨拶(派出所) ・協力合っている。 ・毎年中学生が福祉体験に2日間来られ、利用者さんも楽しみにしています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在意向がないが、ご本人ご家族から要望が出た場合やホーム側で必要と感じた場合には、支援をしていく。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・現在そのような該当者はいないが、必要がある場合は随時支援していく。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・毎月の往診と状況に応じた受診をしている。 ・信頼のできる先生で、24時間いつでも訪問してくださいませ。 ・かかりつけ医と事業所の関係が良好に築き上げられている。また、利用者さん・ご家族の意向に添った対応をし、医療面での不安はないと思われる。		・利用者の側にとって、事業所スタッフ・かかりつけ医との連携が密接になっているので、今後も継続するべきです。



項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・小さな事でも報告・相談のできる主治医がいます。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・職員に看護師さんがおり、利用者さんの症状についてドクターより指示を受け、利用者さん個々に合わせた対応をしてくれています。・看護職員がいるので気軽に相談ができる。また日常生活の中での小さな事も見落とさないで済みます。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・利用者が万が一何かあった時は、主治医との連携が密にとれているため、安心して療養できるようになっている。また、その場合は早期退院に努める。 ・ご家族とも話し合いはしており、連携を図る備えはしている。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・終末期を迎えた利用者さんを扱った教訓から、かかりつけ医・ご家族との連携を密接に、検討・話し合いをし、全員で方針を共有している。 ・ドクターへの状況報告(随時)・ご本人の希望やご家族との話し合い。スタッフミーティング・変化に応じた検討や準備は常に行われている。		・ご家族や主治医にはこまめに連絡・状況の報告を行い、ご本人・ご家族の希望を優先に対応できている。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・ドクターへの状況報告(随時)・ご本人の希望やご家族との話し合い。スタッフミーティング・変化に応じた検討や準備は常に行われている。 ・いつでも情報を共有し、スタッフはご本人の望むターミナルケアを行い支援しています。 ・スタッフは主治の指示のもとに連携をとり、初期段階の変化から、今後を予測し、行動できている。また、状況が変わるたび、相談・話し合いの場を設けている。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	・以前、情報を共有し、話し合いホームと自宅を行き来し、家へ帰れるよう支援いたしました。 ・自宅へ戻るとこになった場合、スタッフ・家族・全員で話し合い情報交換を行っているため、今後もそのような利用者さんが出た場合も即実行できる体制になっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・一人一人、他利用者さんに配慮した声掛けを行なっている。</p> <p>・最善の配慮をスタッフそれぞれ行なっています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・ご本人がどうしたいのか、良く聞き話し合っている。</p> <p>・決めた事を尊重できるよう支援している。</p> <p>・ご本人が納得できない事に対しては、理解できるまで何度でも説明。また、理解できるよう一人一人に合わせた言葉、傷付けないよう寄り添い支援しています。</p> <p>・その日の利用者さんの流れにて生活を支援し1人1人の</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・天気や状況により希望がままならない日もあるが、出来る限り入居者の要望に添った支援を出来るよう配慮している。(散歩など)・外出・食事・家事など希望に添って支援している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>女性・男性利用者さん共に、おしゃれに関心もてるような言葉掛けをしたり、定期的に理容師に来訪していただいている。</p> <p>・月に1度の理容師さんを皆さん・ご家族も楽しみにしています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・毎日の食事作り、配膳、下膳、片付け、おやつ作り、全て一緒に行なっている。</p> <p>・食事中も食欲がわくように言葉掛け、対応している。</p> <p>・旬の野菜を多く使って料理し、米は玄米を食堂で利用者が精米、利用者・職員が一緒になって食事作りをし、食事も美味しく、利用者も元気！</p> <p>・庭での作物をとったり、皆で作っ</p>	<p>・利用者さんやらスタッフやら解らない現状です。それがまた楽しいです。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>・好きな時にお茶が飲める状況が確保されている。</p> <p>・栄養のバランスと共にその人その人に合った物を提供している。</p> <p>・希望時には最大限支援していますが、現在食事を忘れる方、糖尿病の方、嚥下に問題のある方がいらしゃるので難しいこともある。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	・1人1人にあったトイレ誘導、トイレ方法の実施。また、リハビリパンツから布パンツへの促しを意欲向上に繋がるような言葉かけで行なっている。 ・利用者の習慣やパターンに応じた介助や見守りがなされている。(リハビリパンツから布パンツへ・交換拒否の為の汚れ防止配慮などパターンに合わせた声掛け等を行なっている)		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・基本的には毎日いつでも入浴可能にしている。入浴日にご本人の希望に合わせて時間を選んで頂いている。また羞恥心の配慮にも気をつけている。 ・入浴日はある程度決まっていますが、状況によっては(ご本人の希望・発汗・便失禁等)いつでも行なっています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	・言葉に出して訴えられない方に対して、事前に察し、休息の場を設けたり、夜間眠れない方には、お茶会をしたり、部分浴を用いてリラックスを提供している。 ・休息できる時間や場所の空間作りの配慮 ・言葉かけ(体調・表情によって判断)		・昼間についてもリビングや居室で休みたい時に自由に休息されている。
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・ご本人の趣味や特技を生かしたり、生活リハビリを行ったり、頼りにする事で居場所や、役割作りを支援している。 ・生活リハビリの中で、それぞれを活かした役割があり、それを尊重できるよう対応している。 ・楽しみごとができる時間の配慮(趣味・散歩・唄など) ・畑や食事作り、散歩や庭弄りなど行なっている。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族やご本人の意見や要望により支援されている。 ・以前1名ご自分で管理されていた。その時はスーパー等へ出かける機会を多く作っていた。 ・以前は行なっていたが現在は行なえる状況ではない。試みたが、置いた場所をわすれ、ドロボーに入られた、や使ったのを忘れお金が少ない等出現しご家族と相談、中止して		・可能な限り支援していきたい。 ・いつでも支援できる体制。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・天候に合わせ毎日の散歩、日光浴、ドライブ、生活リハビリ等で、外に出る時間を作っている。 ・散歩・スーパーへ買い物・ゴミ捨て・近隣の回覧板渡し。車にてスタッフと利用者で近くのグループホームへ表敬訪問(庭で取れたびわ・ミカンを持参の上)実施。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・ご家族との外出・外泊、季節ごとのイベントなど、支援できている。 ・他の利用者さんと共に可能な限りは機会を作れるよう配慮している。 ・個別の場合に関してはご家族・本人と相談し、支援している。		・ご家族と選挙やお食事へ。他利用者さんと花見・買い物・海へいっております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・いつでも電話がかけられるように、電話機は利用者の目に止まる所に設置。また手紙を書きたいと申し出があったり、要望があった場合には本人の希望に添えるようにしている。(代わりに書いたり) ・入居者により異なるが、ご本人の要望に合わせて支援・対応している。		・手紙や写真を送る支援をしている。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・24時間いつでも来所が可能である事を伝えており、また来訪の際にはゆっくりくつろげるよう利用者さんの居室に通したり、寛ぎやすいよう居室の清潔の保持にも努めている。 ・いつでも気軽に訪問して頂ける状況である。		・ご家族などいつでも来訪しやすい雰囲気になっている。スタッフもまた来訪を望んでいる。 ・『いつでも、何時でもどうぞ』が美咲の家です。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体ミーティングにて身体拘束についての具体的な研修を行い、全員が理解し取り組んでいる。・言葉での拘束『ちょっとまって下さい』がなくなるよう日々対応に工夫し取り組んでいる。 ・ご本人の意思で動けるケアが取り組まれている。		・勉強会をし身体拘束は勿論、スピーチロックをしないよう個々に注意している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・玄関及び各居室、窓日中はどこも施錠していない。施錠するのは夜間就寝時のみです。 ・玄関の開閉は利用者さんが行なっているのでスタッフは手を出さない。現状で十分。 ・常に玄関は開放、見守り・言葉かけにて危険防止の対応もできている。		・我がグループホームには鍵は必要ない感じ。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	・人感センサー反応時の巡回において、利用者さんに“監視”と思われぬよう見守り方法や言葉かけに工夫・タイミングを図っている。 ・スタッフ同士連携が取れているため、センサー、物音に対して敏感に反応できており、その他利用者さんの動きも把握できている。 ・常に利用者の所在を把握し、行動を尊重しながら安全への配慮をしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	・台所：利用者の状態に合わせて刃物を片す。カス：火災想定し、スタッフが食堂を離れる時は元栓を締める。その他：装飾品などでも、移動時等動線に引っかかるものはその場で片す。 ・生活リハビリでの物品の使用(はさみ・包丁)は利用者の使用状況の判断や見守りを徹底しており、保管にも配慮がされている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	・インソート報告書・防災訓練、その他の研修による情報の共有によって取り組んでいる。 ・入居者の状況に応じた防止策に取り組んでいる。 ・吾がホームでは常に利用者さんの動向についてスタッフが気を配ってその行動を把握している為行方不明、窒息などない。自由に利用者が動いているので転倒には特に注意し		・勉強会や火災訓練を行なっている。ヒヤリはっつの際には報告書記入しスタッフで回覧事故防止に努めている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	・急変時または事故発生時の対応方法は、全員が把握できている。訓練としては、防災関連の訓練を定期的に行なっている。 ・ミーティングや勉強会にて行なわれている。 ・利用者の急変はこれまでもあり、迅速な報告・Dr連絡、指示により対処してきている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・定期的な防災訓練を行なう事で、対応方法は身につけている。 ・近隣の方への協力の働きかけ、ミーティング時の避難訓練(昼・夜・場所など異なる想定での訓練)を行なっている。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・ご家族との話し合いは常に行なわれている。 ・施設長が密に連携をとってくれている。 ・事細かくやってくださっている。(非常に大切なことなので今後もお願いします。) ・ケアプランを説明する時にリスクもお話しています。常に危険がどの場所で起こりえるかスタッフは熟知しているので、危険箇所では見守りの徹底を行い抑		・体調・表情の変化を観察。少しでも異変がある時にはDr、Ns、ご家族に連絡している。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・日々の細かな変化を見落とさないように観察、申し送り、主治医への迅速な連絡ができています。 ・1日2回の申し送りでの情報伝達や早期状況での注意・対応をしている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・処方された薬の説明書が、常に見やすい所(事務所)にあるので、理解できています。 ・申し送りでの伝達と用法がわかる文章の配置。 ・利用者さんの症状を把握し、スタッフ同士意見を交換し、変化や軽減などを観察しながら薬を使用し、用法・用量もDr/Nsに相談しながら使用している。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・適度な運動(散歩・生活リハビリ)や、水分の促しに努めている。水分は時にその人の好みの物にして、飲みやすいようにしている。 ・食事や水分での予防と共に便秘時には腹部マッサージや体操などでの対応を行なっている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	介助が必要な方に対しては、食後歯磨きやうがいを促し介助。 ・利用者さんの口腔状態により異なるが、うがい、歯磨きの促し、入歯洗浄での清潔保持を支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・細やかな申し送りによってスタッフ1人1人が把握しており、支援できている。 ・入居者の体調による食事量の増減、食事能力による盛り付けや切り方の配慮など状況に応じ工夫されている。 ・季節や体調、尿量などに配慮した水分確保は常に行なわれている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	・手洗いうがいを行いまた、感染症予防(対応)マニュアルを、常に目の届く場所に掲げてある。 ・清潔の保持を行なっている ・勉強会を開き利用者さんを含め細やかな手洗いなどを施行している。 ・発生しやすい時期ごとに注意を促し書類配布をされている		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・台所や調理器具の洗浄。 ・無農薬や無添加の食材使用をしています。 ・研修に参加衛生には気を付けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・常に開放感(誰でも安心して出入りできる)のある状態として、玄関の開放、毎朝利用者さんと共に玄関周り ・室内の掃除、清潔にしている。また生け花も行なっている。 ・外からも様子がわかり易く入りやすい。適度な草花や生活用品があり、家庭的な雰囲気がある。		・玄関が開いているので隣の方が『雨だよ～、洗濯物しましな～』といつでも声をかけてくださいます。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居間・廊下・玄関・トイレ・各部屋に季節の花を生け浴室は、窓を開けても見られないよう適度な目張りがされている。食堂は使い慣れた物を大切に使用しているため、生活感にあふれており、安心感がある。 ・共用の空間は飾り立てすぎず自然な生活空間。 ・季節を感じる花や手作り品を取り入れたり、音や光も自然の状況を優先し、くつろげる場となっている。		・リビングは畳をひいているので、居室には日中はあまり行かずに居心地良すぎて？リビングで昼寝をする方もいます。 ・心が和むように、また外からの来訪者を迎える気持ちからいたるところに頂いた花・庭の花を飾ったりして雰囲気を作っている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・利用者同士で話が盛り上がっている時にはあえてスタッフが中に入らないようにしている。 ・入居者の気分に応じ共用空間を自由に行き来できる。1人になる時には居室の確保がなされているが、共用空間の中にもそれぞれ気に入った場所がある為、ご本人の気持ちを尊重した時間作りの工夫が行なわれている。		・リビングや食堂又は玄関前など皆さん思い思いにすごしています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・事故(怪我や転倒)の危険性を考慮した上で、生け花や写真などご本人の好みに合わせている。 ・使い慣れたものそして、各利用者さんの生活に応じた物品の用意又は工夫にて対応している。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	・季節や天候によって適宜行なわれている。・(換気)空気の入替え、臭いに関しては消臭剤やお香にて配慮。または臭いの原因となる物の洗濯や清掃。(空調)自然の温度を重視し、衣類の着脱や窓の開閉にて対応する事が多いが、空調使用の際は温度調節は常に行なわれている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・基本的にバリアフリーのない家なので、日常生活から十分リハビリができる。安全面については、見守りが徹底されている。・入居者の生活導線に合わせ、自立した動きができるよう、工夫は常に行なわれている。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	・入居者のわかる力には極力見守りにて対応し、状況に応じては、言葉かけにて対応する。混乱を生じる出来事や物品に関しては、入居者の意見を聞き、取り入れながら工夫がなされている。 ・混乱や失敗がないようスタッフがコツコツ支援し、自立した生活を送れるようにしています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	・庭や玄関外の草取り、食材や花いじり(植え)を自由に行なっていただけるよう、見渡しを良くしている。(玄関扉や縁側窓の開放等)・清掃、草取り、花植え、洗濯干しなど利用者さんが主体となり活動できる場所となっている。 ・庭で草取りやびわ・ミカン狩り又ベランダでの洗濯干しは自由に行なっています。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

・スタッフは常に『自分だったらどう思うか?』と利用者さんの立場になって考え支援し、どうするか? どうしたいかの自己決定を大切にしています。

利用者さんを主体として行動しているので、生き活きとした笑顔が毎日見られます。

・一般的な民家を必要最小限の手直しで使用。段差はそのまま、全室畳、布団を使用(希望があればベットで)、テーブルではなく座卓を使用する『和の生活』です。その生活の中で自然に無理なく残存機能の活用と、ADLの向上が図られています。(自力での起き上がり、座ることにより、全神経を生活の中で確実に集中する為リハビリ効果も自然と知らないうちに向上。土いじり、びわ・ミカン狩りにて、野菜などの成長の喜び、収穫への喜び、精神的にも癒され、身体的にも各部の機能向上に知らないうちに役立っております。(食事食材・お米は無添加・無農薬を使用・利用者さんと一緒に精米。搗き立てをいつも食べています。)

・24時間対応の在宅医師との連携により、終末の看取りをさせて頂いております。その方のご家族や友人、馴染みの方にも関わり合いを持っていただきながら、その方のあるがままを共に受け入れるケアを行なっています。